県P重点運動項目・県P5つの実践

# 多面的な取組が成果へ

## 各家庭、単位PTAでの取組状況調査結果報告

| 調査単位PTA数 | | |
|---|---|---|
| | 小学校 | 473 |
| | 中学校 | 163 |
| | 高等学校 | 51 |
| | 特別支援学校 | 15 |
| | 計 | 702 校 |
| | （回収率） | 88.4 % |

（※小学校は小中併設校・一貫校を含む）

県PTA連合会では、重点運動項目の「食育」「一家庭一家訓」「我が家の教育の日」と、県P五つの実践のうち「積極的に学校を見に行こう!」「省エネ・ごみ減量化・リサイクルに努めよう!」について取組状況調査を今年度も実施しました。

各項目の取組状況等については、左のグラフをご覧ください。過年度との比較で、「食育」についての取組率は高くなっていますが、他の項目はわずかですが低下傾向がうかがえます。特に、「積極的に学校を見に行こう!」は、どの校種も前年度を下回っているのが気がかりです。取り組んだだけの成果は確実にあります。子どもたちの健やかな成長のため、すべての単位PTAで取り組まれることを期待します。

## 食育

多くの単Pで総会やPTA新聞等を利用して取組を呼び掛けています。体作りや健康の面だけではなく、学力との関係から見直し取り組む単Pも増えています。

**成果** ○給食の残食や朝食の欠食が少なくなり、体調不良から保健室に来る児童が減少した。○触れあい活動を通して、協力や思いやりをもって行動するようになった。

**今後の計画** ○米作りなど大切さや共同作業の大切さを学ぶ機会を増やす。○学校保健委員会で話し合い、改善した取組を全体で実践する。

稲作体験（平山小）

## 一家庭一家訓

カレンダーにしてリビングに掲示するなど定番の取組の他、「今年の漢字」ならぬ「わが家の漢字」を決めるなど、ユニークな取組が見られます。

**成果** ○生活リズムが整い、学校で話し合う時間や団らんが増えた。○子どもの教育に対する親の責任を強く意識する保護者が増えた。○働くことの大切さを理解し、進んで手伝いをする児童が増えた。

**今後の計画** ○全校的な取組となるようイベント的な取組を行う。○与えるのではなく子どもから発信させて優れた考え方や夢を引き出す。

家訓の掲示（吉利小）

## 我が家の教育の日

ノーメディアデーの取組として実施している家庭が多いようです。特に、中学校の定期テストの期間に合わせて取り組む小学校が目につきました。

**成果** ○家族について考える時間が増え、三行詩コンクールに多数の応募があった。○うるさく言わなくても、学習など積極的に行動できるようになった。○親子で話し合うことや会話の大切さ、感謝の気持ちを持つようになった。

**今後の計画** ○「家族と一緒に頑張るカード」の形式を見直し、更に取り組みやすくする。○各家庭の情報端末等に関する家庭内ルールづくり100%を目指す。

## 県P五つの実践の取組

**「積極的に学校を見に行こう」**の取組は、全校種ともに前年度より取組率が減少しています。11月の第1週は教育県民週間です。せめてこの期間だけでも、100%の取組を進めたいと思います。

**具体例** ○県民週間に学校自由参観と交流給食会を設け、文化祭や収穫祭の来校者を増やそうと取り組んでいる。○土曜授業のすべてを保護者や地域の方に公開し、学校便りやチラシを配付している。○PTAで学校に行きやすい曜日や時間帯についてアンケートを実施した。

高齢者との交流給食会（平山小）

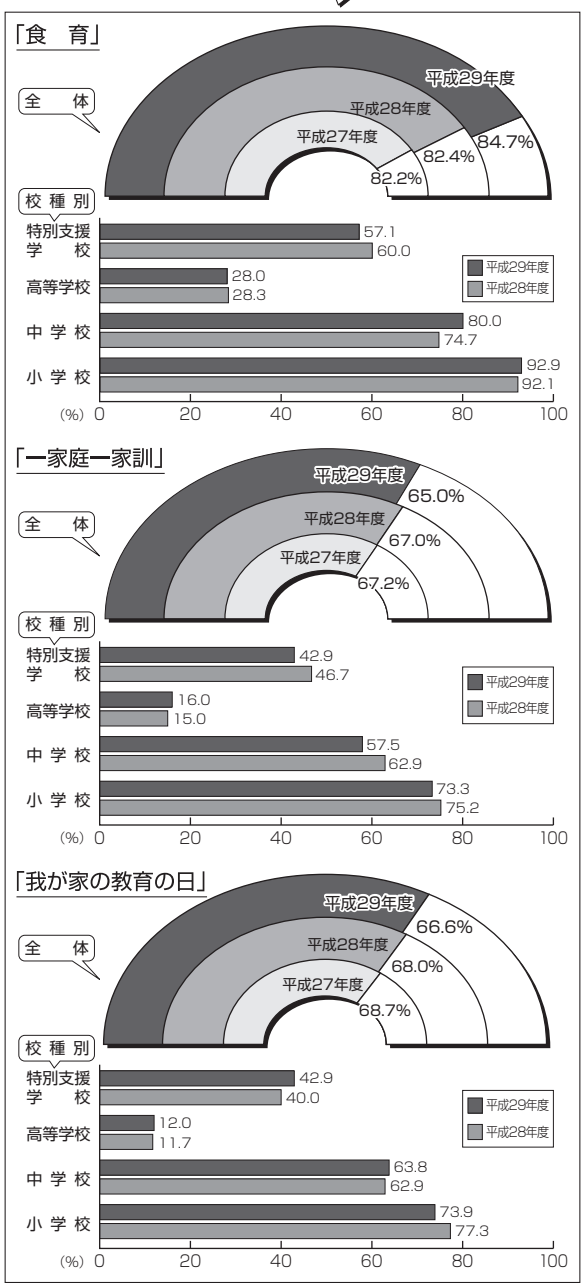
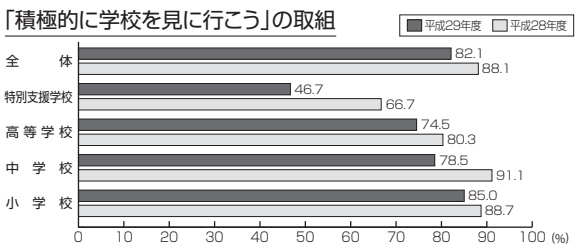
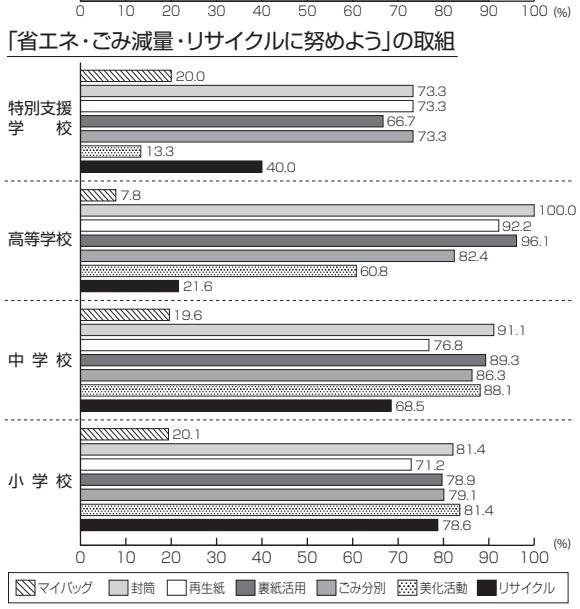
**「省エネ・ごみ減量化・リサイクルに努めよう」**の取組は、例年とほぼ同じく、ゴミの分別や裏紙活用、封筒の再利用などは取組が進んでいますが、マイバッグについてはなかなか定着しないようです。

**具体例** ○校内にリサイクル室をつくり、いつでも古紙や空き缶を回収できるようにしている。○制服や体操服のリユースを促進している。○集めたペットボトルの蓋を発展途上国のポリオワクチン支援に送っている。

この他にも多くの取組の事例がありました。お寄せいただいた取組は県P連のホームページに掲載してありますので、取組の参考にしてください。

今後とも継続して取り組まれるようお願いするとともに、ご多用な時期に調査にご協力いただき感謝申し上げます。

### 県P五つの実践

- 積極的に学校を見に行こう。
- 地域で子どもたちに声を掛けよう。
- 親子で地域活動に参加しよう。
- 省エネ・ごみ減量化・リサイクルに努めよう。
- 「家庭の日」「青少年育成の日」を再認識しよう。

## 家庭で取り組んでいる